



検診の結果、子宮頸がんの疑いがある場合は精密検査を行います。子宮頸がんは、ほとんどがHPV(ヒトパピローマウイルス)の持続感染で発症しますが、その前段階で細胞に「異形成」という変化が起こります。

異形成には軽度↓中等度↓高度と二段階があり、軽度ならほとんど自然に治り、がんに行進するのは1%程度。中等度は約10%、高度だと約20%ががんに行進するとき

②8 子宮頸がん検診(婦人科)

れています。進行はゆっくりで、初感染してから「浸潤がん」に進むまで五年以上かかるともいわれています。

精密検査では、コルポスコピー(腔拡大鏡)で観察し、あやしそうなところをつまみ切り取り、病理組織検査をします。

また、一部の疑陽性では「HPV-DNA」検査を行い、高リスク型のHPVに感染していないかを調べます。陰性なら一年後に再検診。陽性の場合はさらに詳しい精密検査を行います。



子宮頸がんの疑いがある場合の精密検査に使うコルポスコピー＝名古屋市中区の中日病院で

また、一部の疑陽性では「HPV-DNA」検査を行い、高リスク型のHPVに感染していないかを調べます。陰性なら一年後に再検診。陽性の場合はさらに詳しい精密検査を行います。

高度異形成や上皮内がんの段階なら、病巣のみ切除手術で済み、術後発見のためにも検診を受けることが重要です。

検査で異常の疑いが出ても妊娠、出産が可能です。(貝田清隆婦人科部長・談)

疑いあれば精密検査



中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎中日病院＝052(961)2491